

心不全センター設立



心不全センター
センター長 石橋 祐記

今後力を注ぐべき診療分野

患者様の地域社会への復帰と再入院率の減少を目指します

この度、循環器内科と心臓血管外科、救急医学から、新たに「心不全センター」の設立をさせていただきました。本邦においては、2055年には国民の2.5人に1人が65歳以上となる未曾有の高齢化社会が到来します。特に、当院が位置する川崎北部診療圏では高齢化に関して全国上位に該当する地域です。高齢者の慢性心不全は医学的な問題のみならず、家族や社会への医療負担を含め、わが国における社会問題となってきております。2019年12月1日より、「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に関わる対策基本法」が施行され、循環器領域の診療が法制化されるに至りました。循環器領域では心不全患者数は今後30年間減少する兆しが無い、最も力を注ぐべき診療分野であります。

心不全センターが、重症心不全における急性期の循環動態管理のみならず、かかりつけ医や地域社会の橋渡しとしてシームレスな医療を提供でき、心不全の治療・予防と、より良い生活の維持を手助けする多職種からなる心不全チームが患者様の地域社会への復帰と再入院率の減少を実現できるよう目指してまいります。

透析患者様のTAVI手術

透析患者様に治療の選択肢

侵襲性の低いカテーテルによる治療

平素より診療連携に多大なるご協力を頂き、誠に有難うございます。

2021年2月より透析患者様の大動脈弁狭窄症に対するカテーテル治療(TAVI)が開始となりましたのでご報告させていただきます。

以前から非透析患者様に対するTAVIを施行させて頂いておりましたが、2021年2月より透析患者様へも保険償還され、聖マリアンナ医科大学病院でも開始となりました。(全国26施設、神奈川県内3施設での開始となります)低侵襲カテーテル治療により入院期間は約1週間と短く、開胸リスクの高い透析患者様にとっても期待されています。

是非とも透析患者様を診療されている先生方と密な連携をさせて頂き地域医療に貢献できれば幸いです。大動脈弁狭窄症をはじめ弁膜症を患っている患者様がいらっしゃいましたらいつでもご紹介をお願いいたします。



循環器内科
准教授 出雲 昌樹

